

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 5月 22日

福井県知事 殿

提出者

住所 福井県あわら市市姫五丁目19番12号

氏名 株式会社 石川工務店
代表取締役 石川 晴夫

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0776-73-2248

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 石川工務店
事業場の所在地	福井県あわら市市姫五丁目19番12号
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日

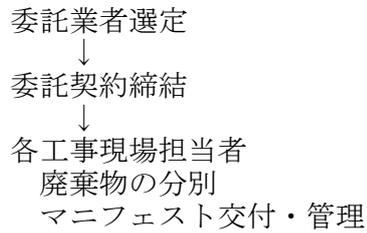
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D06 (総合工事業)
②事業の規模	千円
③従業員数	11人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場にて発生した、がれき類・金属くず・廃プラスチック類・木くず・繊維くず・ガラスくず・汚泥を自社にて直接処分業者に運搬し、委託する。

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 各工事現場にて種類毎に分別し、直接処分業者に運搬する。 マニフェストを交付する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 各工事現場にて監督職員と密に相談し、排出量の減量に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各工事現場にて種類を分別し、他の廃棄物が混入しないようにする。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各工事現場にて分別した廃棄物をさらに分別し、余分な廃棄物を出さないように努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組) —			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組) —			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
各工事現場にて発生した廃棄物について分別運搬し、マニフェストを発行する。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
<p>監督職員と綿密に打合せをし、現場での廃棄物量を減量するように努める。 委託業者については、定期的に現地を確認するなどし、優良業者に委託する よう努める。</p>			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第2面) 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】									
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	廃プラスチック	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	廃油	廃酸	汚泥
	排出量	2047.80t	0.75t	0.24t	1.16t	0.48t	0.00t	0.54t	0.25t	0.00t
(これまでに実施した取組) 各工事現場にて種類毎に分別し排出を抑制。										
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	廃プラスチック	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	廃油	廃酸	汚泥
	排出量	1200.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
(今後実施する予定の取組) 上記に加え、工事現場にて監督職員と綿密に相談し、排出量の抑制に努める。										

(第4面) 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】									
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	廃プラスチック	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	廃油	廃酸	汚泥
	全処理委託料	2047.80t	0.75t	0.24t	1.16t	0.48t	0.00t	0.54t	0.25t	0.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	再生利用業者への処理委託量	2047.80t	0.75t	0.24t	1.16t	0.48t	0.00t	0.54t	0.25t	0.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
(これまでに実施した取組) 可能な限り再生利用業者を選定するとともに、委託基準やマニフェスト交付義務等の法令順守した上で、処理を委託。										
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	廃プラスチック	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	廃油	廃酸	汚泥
	全処理委託料	1200.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	再生利用業者への処理委託量	1200.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
(今後実施する予定の取組) 上記に加え、可能な限り優良な処理業者を選定し、定期的に現地を確認するなどし委託するよう努める。										